

# OCNの発展

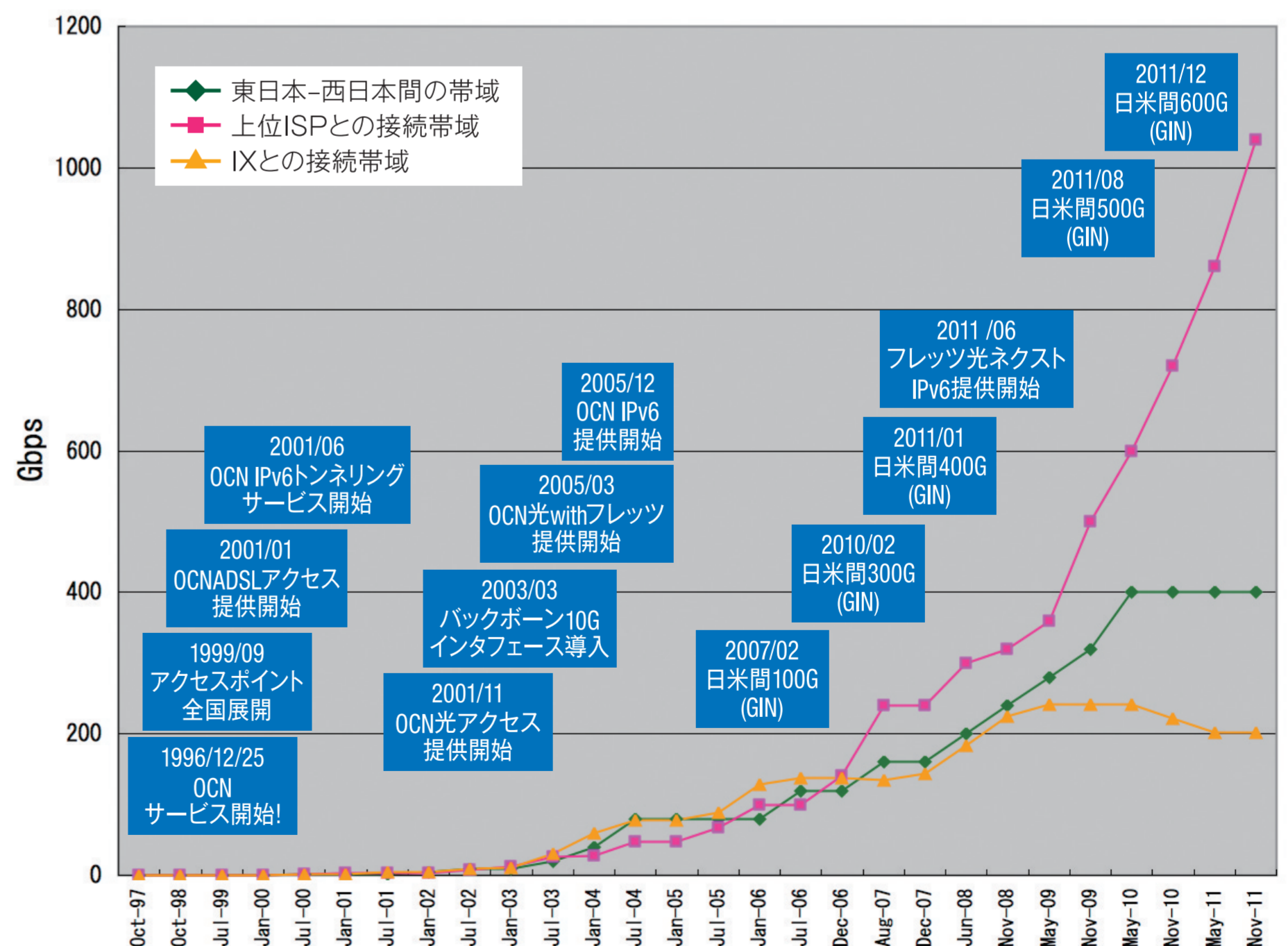
## Expansion of OCN

### 契約回線数の増加とともに、バックボーン回線の容量も増加、日本最大級のISPに成長

OCNでは、それまでの電話交換機ではなく、市販製品であるルータを利用してネットワークを構成しました。初期のOCN用ルータ装置等は、運用実績を優先して大量購入による価格低減を行いながら調達されました。また、NTT収容ビルに設置するアクセスライン終端装置として、低速系、高速系SLTが開発されました。さらに中継系のネットワークにはフレームリレー網を使用し、集約率を高くして低価格を実現しました。1996年12月のサービス開始当初、OCNは外部接続として上流のISP 2社と6Mbps毎で接続(計12Mbps)、またIXとは日本のWIDEプロジェクトによって運営されていたNSPIXP1と1.5Mbpsで接続していました。

1998年6月には、お客様とOCNバックボーンを直結する構成により、世界最高水準の高品質インターネット常時接続を実現する「スーパーOCN」の提供を開始しました。その後多くのISP/ICP/DC/大企業等のお客様にご利用いただくまでになり、日本最大級のISPへと成長していきました。

SLT : Subscriber Line Terminal  
IX : Internet eXchange  
WIDE : Widely Integrated Distributed Environment  
NSPIXP : Network Service Provider Internet eXchange Point  
ISP : Internet Service Provider  
ICP : Internet Content Provider  
DC : Data Center  
GIN : Global IP Network



OCNバックボーン回線容量の推移